



コロナワクチン

ドームで集団接種始まる

大館市 初日は大きな混乱なく

大館市がシプロハチドームで行う高齢者向け新型コロナウイルスワクチン集団接種が12日、始まった。県内最大規模の会場で、1日4000人に接種を進める。会場は一方通行で、真つすに進みながら、受け付け、問診、接種、15分間の経過観察を行った。無料シャトルバスや送迎の車で市民が続々と到着。入場時の検温、行列が並ぶ時間帯もあったが、市の接種対策室は「初日は大きな混乱はなく終了できた」と話した。

高齢者 1日4千人

野球場やイベントにも使用される広い会場を使用し、多くの市民に効率的に接種を進め、早期の集団免疫獲得を目指す。高齢者の今後の1回目の接種日は、13、19、20、26、27日。12、20日は1日4000人、26、27日は1日2500人、約4000人が接種した初日の集団接種（シプロハチドーム）

病院、市内、田代総合支所の4コースで19日運行した。初日は午前9時すぎに接種がスタート。バスや送迎車で市民が続々と到着し、東口から入場。午前11時ごろには入り口の検温前に50人近い行列ができ、受け付けを待つのが満席になった。接種券の確認や問診を行った後、接種スペースで予約、接種を受けた。接種後はすぐに座り、時計をしながら15分間経過を観察。医師や救急救命士が待機し、様子を見守った。対策室は「入場から退場まで1人20〜30分程度で進んだ」と話す。家族の送迎やタクシーを利用する市民も多く、正面玄関前は車が休めなく行き来し、車いすを用意し、学生ボランティアが介助や消毒作業を行った。薬剤師は8人態勢で、会場一角のテント内で希釈したワクチンを注射器に充填し、6時間以内の使用期限を過ぎる札を貼り付け、接種ブースへと運んだ。初日は午後5時すぎに終了し、3962人が接種。対策室によると、体調が悪くなった人が数人いたという。安藤透室長は「午前は予約18000人に対し、20000人以上が来場し、混む時間があった。受け付けのスピードアップを図り、7月に始める予定

0人が予約した。26日からは64歳以下の接種も開始する。会場内は一方通行で、動線を5ルートに分け、テントを設置して九つの接種ブースを設けた。医療関係者や市職員、業者のほか、秋田看護福祉大と秋田職業能力開発短大の学生がボランティアで参加し、約3000人態勢で対応。シャトルバスはイオンスーパーセンター大館店、市立総合